

平成七年三月吉日

署名をして下さった皆様へ  
蔭ながら支援をして下さった皆様へ

心身医療科が残りしました。

## 感謝を込めてお知らせいたします。

平成七年一月下旬、都立駒込病院から、心身医療科をなくすことに繋がる、人事異動が計画されていることを患者たちが知りました。

しかし、三回の院長会談、都知事、都議会への要望書の提出等々を経て、次の様な結果を得ることが出来ました。

- ①心身医療科は当面、現在同様のかたちで存続される。
- ②その後も、心身医療科は神経科と統合され、その中の心身医療外来として存続される。
- ③毛塚先生は心身医療科から、心身医療科を統括する神経科に科長として移籍さ常勤を続けられる。
- ④心身医療科に携わる非常勤の先生の数は、減ることはない。
- ⑤私たち患者は、今までと全く同様の医療を受けることができる。

以上

わたしたちの要望は、この様な形で見事に実現することが出来ました。

これも、ひとえに事態の重要性を理解して下さい、署名やその他諸々の、蔭になり日向になりながら、ご支援して下さいの皆様のおかげです。衷心より感謝申し上げます。

(因みに署名の数は3000名余りとなりました。心の治療を熱望し、その重要性を感じていられる方の多さを痛感させられました。)

また、病院側においても、患者達の窮状に、寛大なる心を持ち熱心に耳を傾けて下さいました吉田尚院長をはじめ、会見の準備等に誠意を持って対応して下さい、庶務課長の渡辺氏、同課の遠藤氏の諸氏に、深い感謝の意を表明します。

なお、今後私たちは会の名称を「駒込患者の会」と改め、『診療を授けて戴く患者』から『どのような診療をして下さっているか、見つけ、お医者様と協力していく患者集団』へと自覚を高め、会を運営、存続していく所存です。

賛同される意思のある方は、どなたでも、思想信条に関係なく参加できる会にしていくつもりです。

以上の点をお知らせして、活動の一区切りとさせていただきます。

繰り返し、深く皆様に御礼申し上げます。

駒込患者の会(旧、毛塚満男先生を支援する患者の会)  
代表 大塚 敦子